

主要相場

日経商品指数17種

(1970年平均=100)

11日 125.673

前日比 -0.302

デイリー

石油

▽原油(現物、FOB、1月、
ドル、2月渡し) 35.05—35.15
▽製品(東京、現物、業者間
販売、ガソリンローリー物
は油槽所渡し、他はバージ
物製油所渡し、軽油は軽油
引取税抜き、1キロ、円)
ガソリン(バーシ物) 96.000—96.500
同(ローリー物) 93.500—94.000
灯油 43.000—43.500
軽油 49.000—49.500
A重油(硫黄分1%) 41.000—41.500
高硫黄C重油(硫黄分3%)
29.500—30.000
低硫黄C重油(同0.3%)
34.500—35.000
ナフサ(東京オープンスペック、
2月前半入着分、1トン、ドル、免税)
423—427

貴金属地金

(東京、大口需要家渡し、持ち込み、
現金、円、午後4時現在)
金(99.99%以上、1グラム) 4,225—4,235
プラチナ(99.9%以上、1グラム) 3,422—3,432
パラジウム(99.9%以上、1グラム) 2,185—2,200
銀(99.95%以上、1キロ) 57,400—58,000
▽ロコ東京金(円建て、終
値、1グラム、円) 4,198
▽小売価格(地金商系、消費
税込み、円) 質値 売値
金 4,499 4,584
プラチナ 3,594 3,722
▽山元建値(円)
金(1グラム) 4,218
銀(1キロ) 56,610

非鉄地金

(東京、商社出し値、置き場渡し、現物、
1トン、現金、千円)
銅 586—588
亜鉛 209—211
鉛 249—251
すず(90日手形) 2,015—2,025
ニッケル(溶解用) 1,190—1,210
アルミニウム(99.7%、輸入スポ
ット物、120日手形) 237—239

半導体スポット

(東京、メモリー、小口渡し、現金、1
個、ドル)
▽DRAM
1キロビット(DDR 2型) 1.04—1.55
2キロビット(DDR 3型) 1.28—1.29
4キロビット(DDR 3型) 1.92—1.94

鋼材

(開屋仲間、置き場積み込み、異形棒鋼
はスポット物を除き大口需要家渡し、
1トン、90—120日手形、千円)
▽条鋼 東京 大阪
異形棒10ミリ(SD 295A) 53—54 51—52
異形棒16ミリ(SD 295A) 49—50 47—48
平鋼6×50ミリ 84—85 78—79
山形6×50ミリ 70—72 70—71
みぞ形5×50×100ミリ 71—73

ウイークリー

(毎週1回土曜日掲載)

黒糖・砂糖小袋

(元卸、市中標準品、黒糖は
沖繩産、置き場渡し、1キロ、
現金、円、左側東京、右側大阪)
黒糖(30キロ) 11,310—11,460
上白小袋(一流ブランド品、トラッ
ク単位取引) 195—198 198

石油製品

(大手メーカー物、大手特約
店卸、軽油は大口需要家渡
し、インタンク物、30—45日現
金振込、ガソリン税53.800円、
軽油引取税32.100円、1キロ、
千円、左側東京、右側大阪)
ガソリン(一般標準品)

H形5.5×8×200×100ミリ 70—72 69—70
▽棒鋼スポット物(異形棒
16ミリ、置き場渡し) 58—60 61—62
▽鋼板
冷延1.6ミリ(914×1,829ミリ) 69—70 68—69
熱延1.6ミリ(1,219×2,438ミリ) 59—61 59—60
熱延3.2ミリ(1,219×2,438ミリ) 58—60 56—57
熱延12ミリ(1,524×3,048ミリ) 61—63 58—59
▽電気亜鉛めっき鋼板
冷延1.0ミリ(914×1,829ミリ) 86—88 93—95
熱延1.6ミリ(914×1,829ミリ) 76—78 83—85

天然ゴム

(大口需要家向け、営業倉庫渡し、1
キロ、90日手形、円)
東京 大阪
RSS 1号 168 11
RSS 3号 168 11
TSR20号 165 1165

繊維

▽絹糸(大阪仲間、上銘品、木管別、
指定地渡し、45日手形、1コリ、千円)
20単 80—82
30単 90—92
40単 92—94
▽スフ糸(大阪仲間、当月物、指定
地渡し、45日手形、円)
プライト ガル
30単 281 266
▽毛糸(名古屋仲間、そ毛織り糸、1
キロ、90日手形、日歩付き、円)
48双 2,010
60双 2,240

砂糖

(元卸、市中標準品、置き場渡し、1
キロ、現金、円)
東京 大阪
上白 183—184 184
白ざら 206—208 207—208
中ざら 206—207 207
グラニュー(並) 186—187 187
グラニュー(本グラ) 188—189 189
ビートグラ 183—184 184
◇名古屋
上白 187
白ざら 211—212
本グラニュー 192
ビートグラ 185
◇関門
上白 187

小豆・大豆

(開屋仲間、大豆は需要家渡し、北海道
産2等、倉庫渡し、輸入物は香港貨車
乗り、千円)
◇東京
小豆(中間物、30キロ) 11
中国産小豆(天津、未選、60キロ) 14.5
米国産大豆(インディアナ、オハ
イ、ミネソタ、選別、遺伝子非組
み換え分別品、1トン) 103
米国産大豆(同、同、分別品、1
トン) 151.5
◇大阪
小豆(中間物、30キロ) 11
中国産小豆(天津、未選、60キロ) 15
◇帯広(新物、貨車乗り、30キロ)
小豆(みかき) 9.5
大手 9
大正金時 14.5

バンカーオイル(外船向け
スポット、180 C S T、現金、1
トン、ドル、免税) 217—220

糖化製品

(一次店卸、60日手形、持ち
込み、円、左側東京、右側大
阪)
▽水あめ(缶物は小口需要
家向け、タンクローリー物
は大口需要家向け)
酵素糖化(1缶) 4,225—4,275
4,175—4,225
同(タンクローリー物、1キロ) 124—126 124—126
酸糖化(1缶) 4,175—4,225
同(タンクローリー物、1キロ) 124—126 124—126
▽ぶどう糖(大口需要家向
け、1キロ) 176—177 176—177

国産豚肉の相場が大きく反発し、2カ月で3割高となった。牛肉が高すぎるため、割安だった豚肉に需要がシフトしている。昨年まで猛威をふるった豚流行性下痢(PED)の影響は薄れ、豚肉の生産は回復しつつある。だが、スーパーや精肉店による注文増加に供給が追いついていない。豚肉の卸値(東京市場、上物)は12月に入り1キロ580円前後となった。安値が目立った10月と比べ約26%高い。名古屋や福岡などの地域でも上

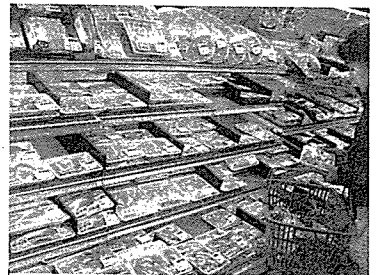
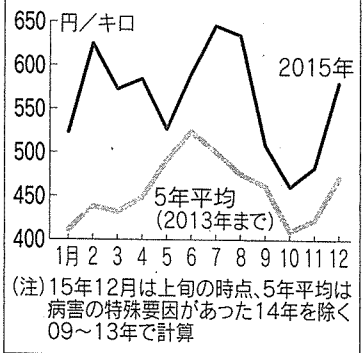
和牛高騰で需要シフト

昇した。PEDの影響が大きかった2014年12月(平均663円)と比べるが、13年まで肉をとりまく構造変化が

豚肉2カ月で3割高

ある。最も大きなのが和牛の高騰だ。11月に三重県松阪市で開いた「松阪

今年の豚肉卸値は例年より割高



和牛より割安な豚肉は消費が増えている(都内スーパー)

供給不足で当面高値

かける共進会で、最上位の牛に3310万円の値がついた。1年前より960万円(41%)高い。落札したのは食肉販売の朝日屋(津市)だ。同社の店頭では今年、松阪牛の切り落としを8%高い100430円に上げた。ただ、ロースやヒレなど同1000円を超える部位は据え置いた。「既に高い価格を上げると消費が鈍る懸念がある」(香田佳永社長)和牛はなぜこれほど高なのか。根本的原因是子牛の高騰だ。「神戸ビー

「産但馬牛の子牛価格は、11月のセリでオス1頭の平均落札額が103万円と初めて100万円を超えた。全国でも子牛が最も高値を更新し続けている。食品スーパー三徳の都内店舗では11日、鹿児島産のブランド豚の切り落としを1004160円の特売にかけた。1週前は同138円だったのが16%上昇している。今後は正月に向けておせちや鍋の需要で牛肉が一段高となれば、豚の高値が続くとの見方がある。